

亘理町立郷土資料館年報

第26号
(令和5年度)



悠里館(東から)

亘理町立郷土資料館

宮城県亘理郡亘理町字西郷 140 番地

電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709

E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年（1994）10月に開館した亘理町立郷土資料館は、令和5年（2023）で29周年を迎えました。

今年は新型コロナウイルスの猛威も落ち着き、施設を運営する側として以前のように多くの皆様にご満足いただける場を提供することができるかを考えさせられる1年となりました。

昨年に引き続き「第26回収蔵資料展」を年明けの2月から3月にかけて開催し、亘理伊達家当主伊達邦成の書や町史の参考文献にも使われた「清野日記」を公開するなど、多くの反響がありました。

7月には町史編纂委員会によって編纂が進められてきた『亘理町史自然編』が刊行されました。これを記念したテーマ展、「亘理町史自然編刊行記念写真展 わたりらんまん」を7月から11月にかけて開催しました。また、郷土資料館町民講座「ものしり大学院」において「ふるさと わたりの自然と人の営み」と題して講演会を開催し、亘理町の豊かな自然に興味と関心を持っていただき、自然環境を守り後世へ伝えていくため、自然と人の関わりに関する認識やふるさとのあり方を問い直す機会としました。

教育普及関係では町内小学6年生を対象とした「文化財めぐり」の事業では、前年まで感染症対策のため見学箇所を減らし対応をしていましたが、従来通りのコースに戻し、加えて学習効果を高めるため、「三十三間堂官衙遺跡」学習会を文化財めぐりと同日に実施しました。また、ゴールデンウィーク期間中は特別開館を行い、「昔のレコードを聴こう！」と題し蓄音機・レコードプレーヤーでのレコード鑑賞を行ったほか、「手作り紙甲冑を着てみよう！」では、亘理甲冑愛好会協力のもと、紙甲冑の試着体験を実施し、多くの来館者にご参加いただきました。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和5年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和6年7月

亘理町立郷土資料館

館長 阿部 浩 恵

目 次

1	令和5年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	2
	〔2〕 事務分掌	2
3	展示	
	〔1〕 常設展示	3
	〔2〕 テーマ展示	3
	〔3〕 収蔵資料展示	4
4	教育・普及	
	〔1〕 講座等	5
	〔2〕 学社融合推進事業	6
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	8
	〔4〕 オープンミュージアム	9
	〔5〕 学校教育関連	9
	〔6〕 刊行物等	10
	〔7〕 博物館実習	10
	〔8〕 震災伝承施設事業	11
	〔9〕 その他	11
5	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	11
	〔2〕 寄託資料	12
	〔3〕 常設展示借用資料	12
	〔4〕 資料貸出	13
	〔5〕 その他	14
6	観覧者数の推移	
	〔1〕 令和5年度月別観覧者数	14
	〔2〕 年度別観覧者数	15
7	予算	15
8	職員名簿	15
9	利用案内	16

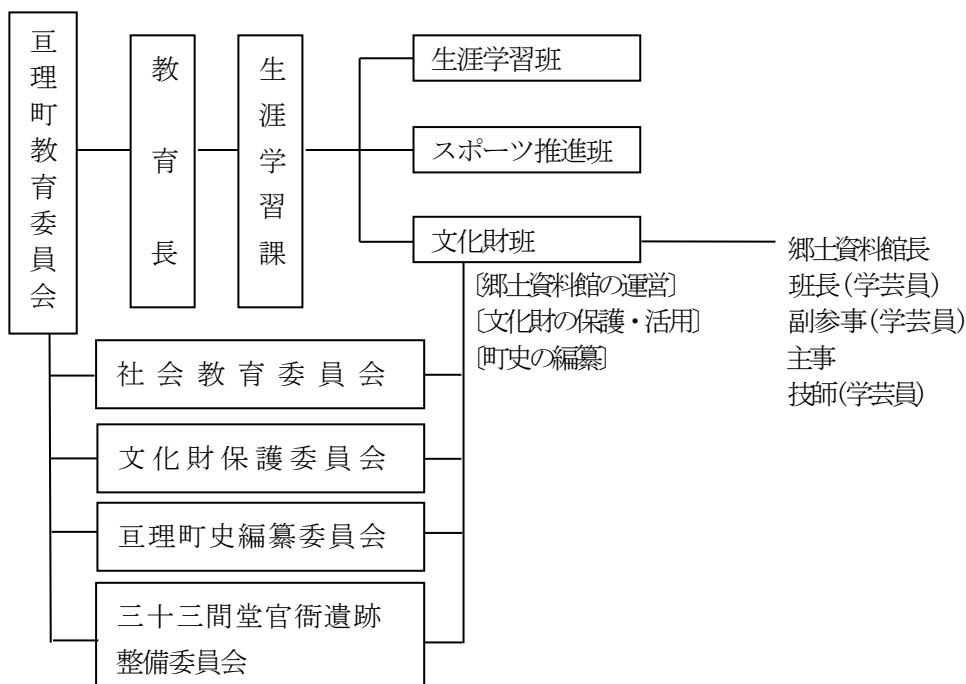
1 令和5年度の主な事業と活動

R5.	4	広報紙「郷土しりょうかん」第164号発行
	4/1 ~ R6.3/31	3. 11から未来へ「わたり復興の歩み」上映会(毎月第2土曜・翌日曜上映)
	4/29 ~ 5/7	ゴールデンウィーク特別開館事業
	6/9	宮城県博物館等連絡協議会役員会・総会
	6/28	宮城県南資料館等連絡協議会総会(村田町)
	7	広報紙「郷土しりょうかん」第165号発行
	7/7	学芸員の派遣 社会科「亘理用水」に関する学習会(逢隈小学校)
	7/22 ~ 8/20	夏休み教育普及事業「郷土資料館ちよこつと体験」
	8/5 ~ 9/27	テーマ展 第1部 『亘理町史 自然編』刊行記念写真展 「わたり らんまんー亘理町の自然ー」
	8/15 ~ 8/19	博物館実務実習
	8/16	「伊達成実霊屋」御開帳スタンプラリー
	8/20	『亘理町史自然編』刊行記念自然観察会「海岸林を探検しよう！」
	8/26	物作り講座「繭細工体験会」
	9/7 ~ 11/17	文化財めぐり(町内小学6年生対象) 出前授業「三十三間堂官衙遺跡を知ろう」(各小学校)
	9/10	『亘理町史自然編』刊行記念自然観察会「亘理の自然を知ろう！」
	10	広報紙「郷土しりょうかん」第166号発行
	10/1 ~ 11/26	テーマ展 第2部 『亘理町史 自然編』刊行記念写真展 「わたり らんまんー亘理町の自然ー」
	11/3	文化の日特別開館「オープンミュージアム」
	11/3	郷土資料館町民講座「ものしり大学院」
	11/17	学芸員の派遣 社会科「亘理用水」に関する学習会(逢隈小学校)
R6.	1	広報紙「郷土しりょうかん」第167号発行
	1/11 ~ 2/7	出前授業「戊辰戦争と亘理伊達家の北海道開拓」(各小学校)
	1/16	「伊達成実霊屋」御開帳
	2/1 ~ 2/2	宮城県南資料館等連絡協議会第1回役員会・担当者研修会(村田町)
	2/16	宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市) 欠席
	2/17 ~ 3/17	亘理伊達家雛人形公開・つるし雛展
	2/24 ~ 3/31	第26回収蔵資料展
	2/29	国立歴史民俗博物館共同研究「日本歴史文化知の構築」 2023年度第2回地域歴史協働ユニット研究会
	3/6	移動しりょうかん「昔の道具とくらし」(高屋小学校)

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

令和5年4月1日現在

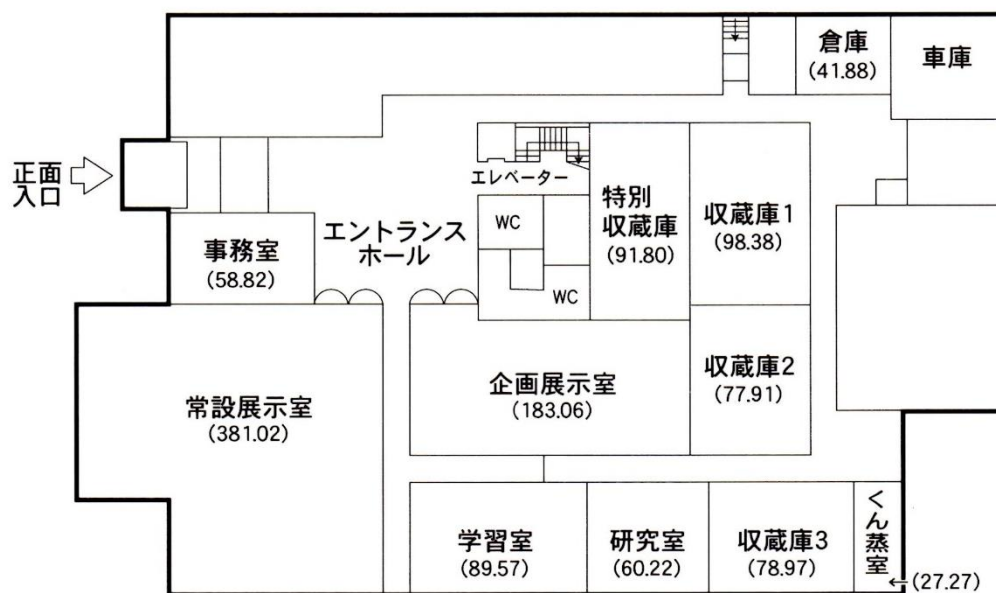


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・
資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

亙理伊達家雛人形公開・つるし雛展

期 間 令和6年2月17日(土)～3月17日(日)
開館日数 25日
会 場 常設展示室、悠里館1階エントランスホール
観覧者数 958人 1日平均 39人(常設展示のみの人数)

【展示内容】

- ◎常設展示室(入口・亙理伊達家コーナー)
石川家伝来亙理伊達家古今雛一对・婚礼調度品6点
- ◎悠里館1階エントランスホール(悠里館出入口)
輪飾り等 35本(町内協力者借用品等、收藏品)



▲亙理伊達家雛人形とつるし雛

〔2〕 テーマ展示

「亙理町史 自然編」刊行記念展 「わたり らんまんー亙理町の自然ー」

期 間 第1部 令和5年8月5日(土)～9月27日(水)
第2部 令和5年10月1日(日)～11月26日(日)
開館日数 89日
会 場 企画展示室
観覧者数 3614人 1日平均41人

【趣 旨】

『亙理町史 自然編』の刊行を記念して、掲載写真を展示し、亙理の豊かな自然、なかでも県の自然環境保全地域に指定されているが、あまり認識されていない愛宕山緑地環境保全地域や仙台湾海浜について知る機会とした。併せて自然編刊行の情報発信の場とした。

【展示内容】

- ◎『亙理町史 自然編』ってどんな本？(1・2部写真共通) コーナー

自治体史の性格とこれまでの刊行物、『亙理町史 自然編』の刊行経緯や構成を紹介した。

展示物…『亙理町史上巻』、『亙理町史下巻』、『亙理小史』、『亙理町史現代編』、
『亙理町史民俗編』、自然編構成パネル ほか

- ◎わたりの自然環境(1・2部写真共通) コーナー

亙理町は、西に阿武隈高地、丘陵の裾から広大な平野が広がり、北を大河・阿武隈川が東流して太平洋に注ぎ、河口近くには潟湖の鳥の海と、山、野、川、湖、海と多彩な自然環境に恵まれている。この豊かな自然と、人の手が加わった水田やため池なども併せて知ってもらった。

展示物…航空写真3点、阿武隈高地4点、阿武隈川3点、池沼3点、平野6点、鳥の海5点、
砂浜3点 ほか

- ◎わたりの草木(1・2部写真入替) コーナー

亙理町に生育する里山、平野、河畔・海岸の植物や蘚苔(コケ)、巨木を紹介した。

展示物…「里山の植物」 各6～8点

- 「平野の植物」 各6～8点
- 「河畔・海岸の植物」 各6～8点
- 「蘚苔（コケ）」 各5～6点
- 「巨木・大木・名木」 各12点

◎わたりの生き物（1・2部入替）コーナー

亶理町に生息する哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫、底生動物を紹介するほか、明治29年（1896）逢隈村鹿島に生まれ、宮城県師範学校を卒業後日本大学高等師範部で学び、のちに亶理中学校の初代校長となった高村敏雄が描いたスケッチをとおして昭和初期に生息していた昆虫を知ってもらった。

- 展示物…[哺乳類] 各6～8点
- [鳥類] 各6～8点
- [爬虫類] 各4～6点
- [両生類] 各4～6点
- [昆虫] 各6～8点
- [底生生物] 各4～6点
- [高村スケッチ] 各8～10点



▲写真を熱心に見る観覧者

◎守っていきこう！わたりの自然—愛宕山と鳥の海—（1・2部入替）コーナー

亶理町で県の自然環境保全地域に指定されている愛宕山緑地と亶理海浜（仙台湾海浜）を紹介し、貴重な自然環境が亶理にあることを知ってもらった。

1部展示物…愛宕山緑地環境保全地域

- 山景、イヌブナースズタケ群落、ウラジロガシ、
- ホオジロ（留鳥、GBP提供）、春夏鳥1点、秋冬鳥1点、愛宕神社祠 ほか
- ※留鳥：シジュウカラ、コゲア、アカゲラ（県HP掲載）、ウグイス、ホオジロ、フクロウ
- 春夏鳥：サンコウチョウ、オオルリ、キビタキ、カッコウ
- 秋冬鳥：ミソサザイ、キクイタダキ、ジュウビタキ

2部展示物…仙台湾自然環境保全地域—鳥の海

- 鳥の海4点、クロマツ林2点、海浜植物3点（ハマニガナ：GBP提供）
- シロチドリ1点、コアジサシ1点 ほか

◎つないでいきこう！おらほの森（1・2部共通）

〔3〕 収蔵資料展示

第26回収蔵資料展

- 期 間 令和6年2月24日（土）～3月31日（日）
- 開館日数 29日
- 場 所 企画展示室
- 観覧者数 1,084人 1日平均37人

【趣 旨】

平成6年10月に亶理町立郷土資料館を開館して以来、収蔵資料は年々充実し、現在では約16,000点の資料を収蔵し、調査



▲伊達成実書掛軸

研究を進めている。これに伴い、亘理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示場所の制限上公開される機会の少ない資料が増加したため、平成8年度から年度ごとに順次展示公開している。

26回目となる今年度は、令和2年4月から令和3年3月までに収集した歴史民俗資料で、おもなものとして亘理伊達家当主伊達邦成の書や衣食住に関わる資料、小中学校の教育現場で使用された書籍や卒業記念アルバムなど民俗知識に関わる資料のほか、69品目116点の資料を公開した。

【展示内容】

69品目116点の資料を分類項目ごとに展示した。

項目	点数	項目	点数	項目	点数
亘理伊達家・家中	3	生産・生業	1	社会生活	4
文書・書籍・地図	13	競技・娯楽・遊戯	1	民俗知識	51
衣・食・住	14	信仰	1	地域おこし協力隊	5
交易	12	写真	11		

〔5〕 その他

常設展示室内のグラフィックの修正作業を行った。

4 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度から開催しているこの事業は、「郷土の歴史と文化」を中心にテーマを設定し、歴史・考古・民俗・自然などさまざまな分野の研究者を講師として招いて講座を開催してきた。

令和5年度は、7月に刊行した『亘理町史自然編』の刊行を記念して、亘理町の豊かな自然へ関心を持ち、自然環境を守り後世へ伝えていくため、自然と人の関わりに関する認識やふるさとのあり方を問い直す機会とした。



▲講座の様子

- テーマ 「ふるさと わたりの自然と人の営み」
- 日時 令和5年11月3日(金・祝) 午後1時30分～3時30分
- 会場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)
- 講師 『亘理町史自然編』執筆者・東北学院大学地域総合学部教授 平吹 喜彦 氏
- 聴講者 56人(事前申込制・定員80人)
- 内容 亘理町の豊かな自然に興味と関心を持っていただき、自然環境を守り後世へ伝えていくため、自然と人の関わりに関する認識やふるさとのあり方を問い直す機会とした。

2. 夏休み教育普及事業「郷土資料館ちよこっと体験」

普段は見ることはできない郷土資料館展示室で、夏休み期間に様々な体験を行うことで、郷土資料館や町の歴史に対する興味・関心を向上させることを目的として行った。

- 期 間 令和5年7月22日(土)～8月20日(日)
会 場 常設展示室
内 容 ①切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋の切り絵に挑戦
②ぬり絵に挑戦してみよう：わたりんのぬり絵に挑戦
③クイズに挑戦してみよう：常設展示室の展示内容に関するクイズに挑戦

3. 『亘理町史自然編』刊行記念自然観察会「海岸林を体験しよう！」

- 実 施 日 令和5年8月20日(日)
会 場 亘理町吉田浜海岸
参加人数 小学生 4人
内 容 砂浜の探索・松林の観察・ハンノキ林探検し、亘理の自然環境、動植物を知る機会とした。

4. 『亘理町史自然編』刊行記念自然観察会「亘理の自然を知ろう！」

- 実 施 日 令和5年9月10日(日)
会 場 亘理町吉田浜海岸
参加人数 大人 8人
内 容 砂浜の探索・松林の観察・ハンノキ林探検し、亘理の自然環境、動植物を知る機会とした。

5. 物作り講座「繭細工体験会」

- 趣 旨 繭細工をとおして亘理町の養蚕の歴史を知る
日 時 令和5年8月26日(土) 午前10時20分～11時30分
会 場 郷土資料館 学習室
対 象 5歳～小学3年生までの親子(祖父母の参加可)
参加人数 5組13人
共 催 わたりっ子を育てる会
内 容 養蚕の歴史の話と繭を使用したうさぎ作り



▲熱心に繭細工を作る参加者

〔2〕 学社融合推進事業

平成12年度から行っている事業で、町内小学生を対象に職員が学校に出向くなどして、総合学習や社会科の授業の中で亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 移動しりょうかん

「昔の道具とくらし」

- 実 施 校 高屋小学校(家庭科室および廊下)
実 施 日 令和6年3月6日(水)



▲炭火アイロンがけをする児童

参加人数 11人(3年生)

内 容 「炭火アイロンがけ」、「天秤棒を使った桶担ぎ」、

2. 「洗濯板を使った洗濯」などを体験した。

「三十三間堂官衙遺跡を知ろう」

実施校 各小学校6校(10クラス)

参加人数 279人(6年生)

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
長瀬小学校 (1クラス)	9/7 (木)	10:49 ~12:20	亶理町立 図書館 視聴覚ホール	22	<ul style="list-style-type: none"> 国指定史跡である三十三間堂官衙遺跡に関するスライド(パワーポイント)を活用し、史跡の内容や当時の日本のようすなどと併せて、文化財の保護や史跡整備についても学んだ。 令和5年度小学生文化財めぐりと同日に実施することで学習効果を高め、貴重な文化財の保護保全に対する関心を高めた。
亶理小学校 6年1組	9/20 (水)	10:50 ~11:50		36	
亶理小学校 6年2組	9/21 (木)	10:37 ~11:44		36	
吉田小学校 (1クラス)	9/28 (木)	10:40 ~11:49		16	
高屋小学校 (1クラス)	10/4 (水)	10:32 ~11:45		6	
荒浜小学校 (1クラス)	10/5 (水)	10:48 ~11:55		21	
逢隈小学校 6年3組	11/8 (水)	10:10 ~11:15		36	
逢隈小学校 6年2組	11/9 (木)	10:13 ~11:17		36	
逢隈小学校 6年1組	11/10 (金)	10:12 ~11:15		35	
亶理小学校 6年3組	11/17 (金)	10:27 ~11:45		35	

「戊辰戦争と亶理伊達家の北海道開拓」

実施校 各小学校6校(10クラス)

参加人数 291人(6年生)

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
亶理小学校 (3クラス)	1/11 (木)	9:35 ~12:20	各小学校教室 (クラス単位)	114	<ul style="list-style-type: none"> スライド(パワーポイント)により亶理伊達家の歴史、戊辰戦争及び伊達家中の北海道開拓について周知理解を図るとともに、郷土の歴史を学ぶ機会とし
長瀬小学校 (1クラス)	1/17 (水)	10:25 ~11:10		23	

高屋小学校 (1クラス)	1/23 (火)	13:35 ～14:20	各小学校教室 (クラス単位)	7	た。 ・実施日について、講座による学習効果 を高めるために各担当教諭と日程調整 を行い、社会科授業の江戸時代が終了 する時期に合わせて実施した。
逢隈小学校 (3クラス)	1/24 (水)	9:30 ～12:15		110	
吉田小学校 (1クラス)	1/25 (木)	10:35 ～11:20		16	
荒浜小学校 (1クラス)	2/7 (水)	10:40 ～11:25		21	

3. 学芸員の派遣

社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校 2校(6クラス)

参加人数 211人(4年生)

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
逢隈小学校 (3クラス)	7/7 (金)	10:30 ～12:00	逢隈小学校 体育館	109	・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土背負箱)など用水を作った時の道具やジャバラなど農作業の道具を展示した。
亘理小学校 (3クラス)	11/17 (金)	10:30 ～12:00	亘理小学校 体育館	102	・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦勞を推察させた。

4. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校 民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校 民俗資料室(平成15年9月新設、平成26年9月1日再開)の継続

【3】 ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。連休中の観光スポットの一つとして、家族連れの来館が多く見受けられた。

日時 令和5年5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)

観覧者数 640人 1日平均80人

内容

◎チャレンジクイズ

常設展示室内の資料を題材としたクイズ(初・中・上級)に挑戦し、正解した方に郷土資料館オリジナル缶バッジをプレゼントした。

◎「昔のレコードを聴こう！」

1階エントランスホールで、蓄音機・ステレオでレコード観賞を行った(1日3回)。

◎「手作り紙甲冑を着てみよう！」



▲紙甲冑試着の参加者の様子

亙理甲冑愛好会協力のもと、紙甲冑の試着体験を実施した。(4月29日・5月5日のみ)

〔4〕 オープンミュージアム

亙理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、体験コーナー、クイズ、郷土芸能演舞会とDVD上映を行った。

日 時 令和5年11月3日(金・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、エントランスホール)

観覧者数 常設展示…285人 企画展示…285人

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、牛袋法印神楽保存会による「弓八幡舞」、亙理町指定無形民俗文化財の「亙理枅取り舞」を保存会員とともに吉田小学校3年生8名が披露し、演舞会後半には餅撒きを実施した。

◎チャレンジクイズ

常設・企画展示室内の資料を基にしたクイズに挑戦し、正解した方にオリジナルクリアファイル(史跡三十三間堂官衙遺跡国指定30周年記念デザイン)をプレゼントした。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

①ぬり絵・切り紙をやってみよう

②昔の遊びをやってみよう ③土器にさわってみよう

◎亙理獅子舞装束展示

常設展示室に町指定文化財の亙理獅子舞で使用する装束を展示した。



▲土器の観察をする来館者



▲郷土芸能演舞会「亙理枅取り舞」の様子

〔5〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町の歴史への理解を深め、文化財保護意識を高めるために、町教育委員会が実施している。町内の文化財と郷土資料館を希望校の小学6年生(10クラス279人)と教職員18人が、郷土資料館職員の解説を聞きながら見学・学習した。



▲三十三間堂官衙遺跡学習会の様子



▲見学の様子 亙理伊達家歴代墓所

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亙理小学校	3	107	9月20日、21日、11月7日
荒浜小学校	1	21	10月 5日
吉田小学校	1	16	9月28日
長瀬小学校	1	22	9月 7日
逢隈小学校	3	107	11月 8日、9日、10日
高屋小学校	1	6	10月 4日

2. 修学旅行・社会見学

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
4/20	北海道伊達市立光陵中学校 大滝徳舜警中学校	93	修学旅行での見学
11/2	亙理町立荒浜小学校 3年生	29	社会科授業での見学

3. その他

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
8/2	亙理町内配属新任教職員	9	町内文化財めぐりの一環
8/31	伊達東小学校	14	町内文化財めぐりの一環

〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第164号～第167号

広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を4・7・10・1月の年4回発行。

〔7〕 博物館実務実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月15日(火)～8月19日(金)の5日間

実 習 生 尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類4年生1人

東北学院大学文学部歴史学科3年生1人 計2人

実習内容 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学庶務管理及び運営について(講話)、
文化財について(講話)

2日目：教育普及活動の実際、文化財の保護活用の実際、資料の収集、計測、
保管作業、資料のクリーニング作業

3日目：企画展示について(企画立案・展示方法・展示品のピックアップ)
企画展示の実際(展示作業・展示解説)

4日目：教育普及活動について(「学校ミュージアム」の実際)
資料の保管について、文化財について(町内の遺跡・史跡)

5日目：埋蔵文化財について(埋蔵文化財保護行政・考古資料の取り扱い・
資料整理)

〔8〕 震災伝承施設事業

3. 11から未来へ「わたり復興の歩み」上映会

震災の記憶を風化させず、教訓を伝え、命を守る行動につながる機会となるよう、悠里館1Fのエントランスホールで、発災直後から10周年の令和3年3月11日に開催された合同追悼式までの復興過程を収めた映像を上映した。

期 間 令和5年4月8日(土)～令和6年3月10日(日)

日 時 毎月第2土曜日と翌日曜日(2月のみ特別整理期間のため第3土曜日と翌日曜日)

鑑賞者 417人 1日平均18人

〔9〕 その他

1. 講師派遣

◎史跡巡りウォーク(吉田西部地区まちづくり協議会)

10月29日(土) 亘理町吉田西部地区内

講師:副参事 鈴木朋子 テーマ:「吉田西部地区の史跡・遺跡を巡る」(現地説明)

◎亘理郡退職校長会「研修会」

11月11日(火) 亘理町中央公民館 視聴覚室

講師:副参事 鈴木朋子 テーマ:「国史跡三十三間堂官衙遺跡文化財を活かしたまちづくり・ひとづくり」

◎まちづくり出前講座(亘理町シルバー人材センター「ちょこっと study カフェ」)

令和6年2月28日(水) 図書館視聴覚ホール

講師:技師 加藤圭 テーマ:「収蔵資料展にみる 亘理のくらしと学校教育」

2. 視察研修等の受入れ

◎東北大学大学院文学研究科 令和5年 5月20日(土) 30人

◎九班会 令和5年 7月21日(金) 16人

◎放課後デイサービスぐれいす岩沼 令和5年 7月27日(日) 13人

◎仙台歴史探訪会 令和5年 9月 9日(土) 22人

※ほか団体視察研修等多数

5 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は令和5年度新規収蔵資料

(1) 考古資料:118点

常設展示展示資料:114点

※このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 合計 5,354(67)品目 17,471(3,274)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料:1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～令和5年度)の収蔵資料:4,324品目 15,881点

《平成6～令和5年度収蔵資料分類内訳》

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,640	7 民俗知識	1,976	12 亙理伊達家・家中	149
2 生産・生業	838	8-1 民俗芸能	11	13 軍事・戦争	419
3 交通・運輸・通信	381	8-2 競技・娯楽・遊戯	4,742	14 文書・書籍・地図	1,495
4 交易	2,170	9 人の一生	161	15 美術	743
5 社会生活	783	10 年中行事	168	16 その他	74
6 信仰	118	11 口承伝承	2		

- (3) 写真・映像等資料 合計 560品目 1,172点
 写真：506品目 860点 映像・音声：17品目 271点 絵・図：39品目 42点
 (4) その他(化石など) 9品目 83点
 (5) 教育普及用 6品目 10点
 (6) 参考資料 4(1)品目 15(10)点

2. 寄贈資料

16人 76品目 3082点 品目、点数の()内の数字は参考資料

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	岡崎 直樹	亙理町(港町)	レコード	1	43
2	笠松 よう子	亙理町(高屋)	レコード	1	19
3	保科 則夫	亙理町(南町北)	教科書 ほか	5	14
4	関 正敏	千葉県	御当代拾代斉宗公御入部御行列写 ほか	2	3
5	鈴木 光範	亙理町(柴町)	東北新幹線試乗記念レール ほか	10	31
6	中嶋 純	岩沼市	軍艦長門記念写真帖	1	1
7	齋藤 秀子	亙理町(館南上)	牧野 日本植物圖鑑	7	13
8	鳥畑 富士江	亙理町(祝田西)	教科書 ほか	19	41
9	寺島 喬	亙理町(祝田東)	ゲートル ほか	3	4
10	石川 玉吉	神奈川県	海軍履歴書 ほか	7	9
11	水野 孝一	亙理町(蕨)	おもちゃコレクション ほか	6	3082
12	沼邊 喜英	亙理町(上町北)	宮城県亙理郡史 ほか	10(10)	10(10)
13	佐藤 朱美	亙理町(あぶくま)	足踏みミシン	1	1
14	商工観光課		わたりんクリアファイル	1	1
15	町民生活課		犬鑑札	1	1
16	不明		算法地方大成	1	1

〔2〕 寄託資料

亙理忠儀記(亙理町指定文化財)

渡邊家文書ほか 1488点

伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点

短冊ほか 113点

脇差1点・刀1点

刀2点

享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点

志賀家文書 378点

上町 菊地家 所蔵

渡辺 堯氏 所蔵

武田信一・厚志氏 所蔵

岡元継男氏 所蔵

東條勝雄氏 所蔵

武者 司氏 所蔵

山形節子氏 所蔵

志賀道義氏 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5. 7. 18～	亶理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

実物資料 5件 23点

No.	貸出先	利用目的	資料名	点数	貸出日・期間
1	個人	自宅鑑賞用	亶理拵取り舞 (H4) (ズームイン朝カット) (吉田小あつたかフェス練習) (吉田小あつたかフェス2019)	4	6. 4～6. 17
2	福島県立博物館	展示公開	三十三間堂遺跡出土須恵器広口壺 三十三間堂遺跡出土須恵器壺片	2	8. 22～ 12. 22
3	亶理保育所	稲の脱穀体験	足踏み脱穀機	1	10. 13～ 10. 20
4	亶理甲青愛好会	亶理町文化祭	伊達成実公 竹に雀紋指小旗 青葉神社印	10	10. 27～ 10. 29
5	亶理甲青愛好会	悠里館ギャラリー展示	幟旗	6	R6. 2. 29～ 3. 30

写真資料 4件 12点

No.	貸出先	利用目的	資料名	点数	貸出日・期間
1	株式会社ザ・ワークス	日本テレビ系列 ZIP! の旅 するエプロンコーナー内で 掲載	地引網漁写真	1	11. 7
2	NHK	NHK大河ドラマ「独眼竜 政宗」のNHKオンデマ ンドでの配信	亶理町指定文化財 亶理領主伊達家歴代墓所 宮城県指定文化財 伊達成実霊屋附木像	2	R6. 1. 1～ 12. 31
3	個人	「城柵官衙遺跡検討会 第 50回記念シンポジウム資 料集」に使用	亶理町文化財調査報告書大19集 「国史跡三十三間堂官衙遺跡 一平 安時代の陸奥国亶理郡衙跡発掘調査 総括報告書」原稿データ	1	12. 15～ R6. 2. 24
4	個人	メタバースイベント亶理町 照会資料に掲載	亶理町立郷土資料館常設展示室プロ ログ映像Blu-ray「わたしたちのま ち亶理」映像内画像 亶理町立郷土資料館リーフレット掲 載地図画像	8	R6. 2. 28～ R6. 3. 14

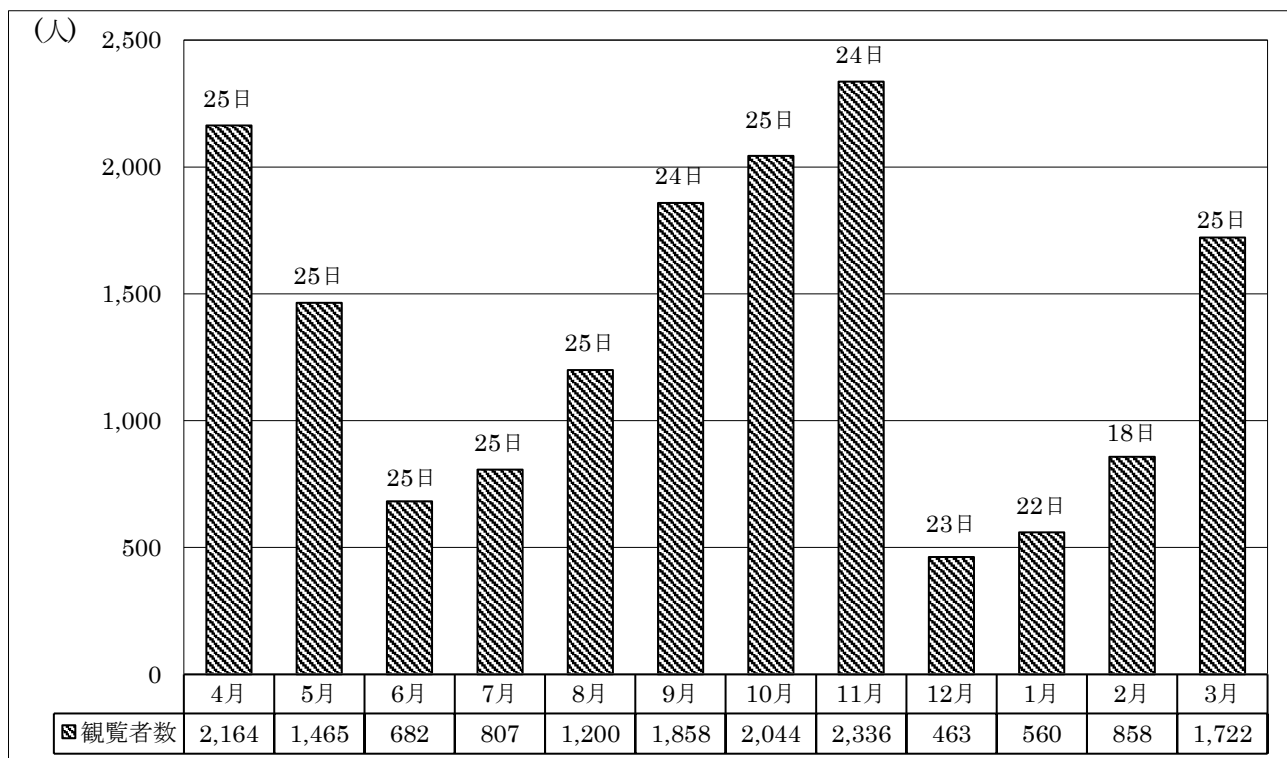
〔5〕 その他

収蔵資料を適切に保管・管理するため、館内くん蒸庫を使用し、委託業務により被災資料、収蔵資料(民具・古文書等)のくん蒸を2回行った(8月8日～10日、10月24日～26日)。また、常設展示室内のグラフィック修正や経年により汚れや損傷の見られた展示什器の塗装作業、資料を適切に保存するため燻蒸庫のバルブと収蔵庫の扉の修繕を行った。

6 観覧者数の推移

〔1〕 令和5年度月別観覧者数

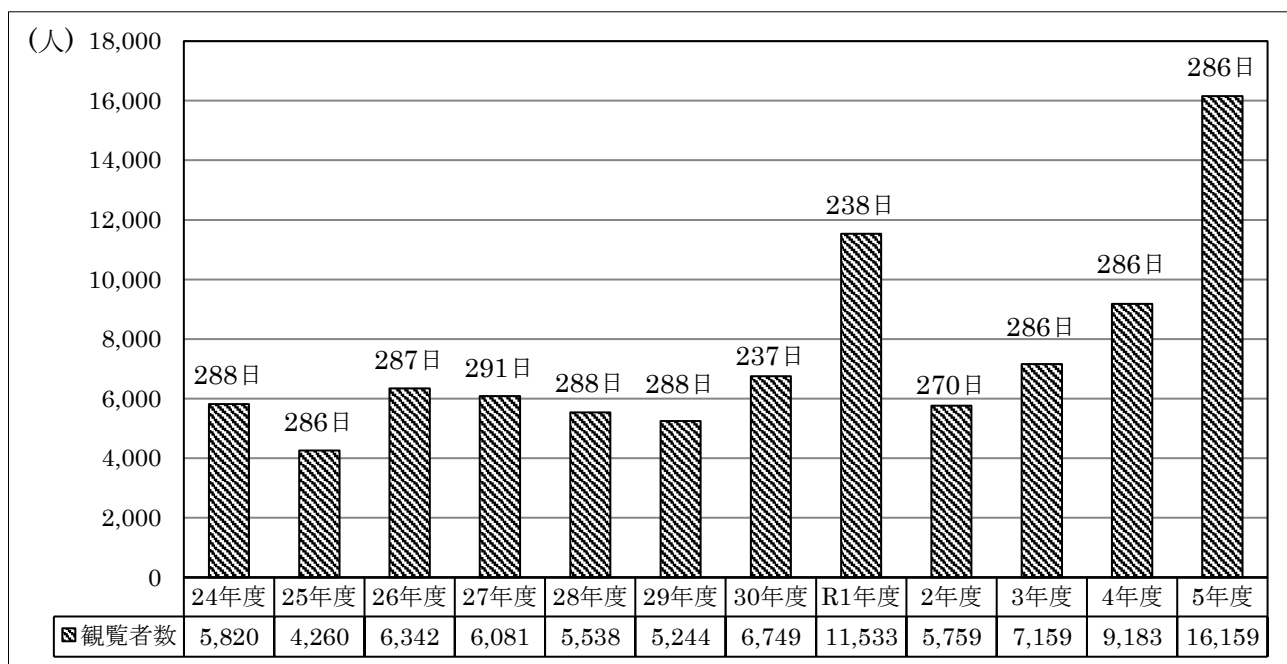
総観覧者数：16,159人（開館日数：286日 1日平均57人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：241,273人

平成24年度～令和5年度観覧者数の推移



7 予算

郷土資料館費

予算額 10,940,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

8 職員名簿

【令和5年4月1日～令和6年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	齋藤 伸	R 2. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	
文化財班長	武田 恵美	H 24. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	学芸員
副参事	鈴木 朋子	H 18. 10. 1 ~ R 6. 3. 31	学芸員
技師	森田 健太郎	R 1. 10. 1 ~ R 6. 3. 31	学芸員
技師	加藤 圭	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	学芸員
主事	山下 貴広	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	

9 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

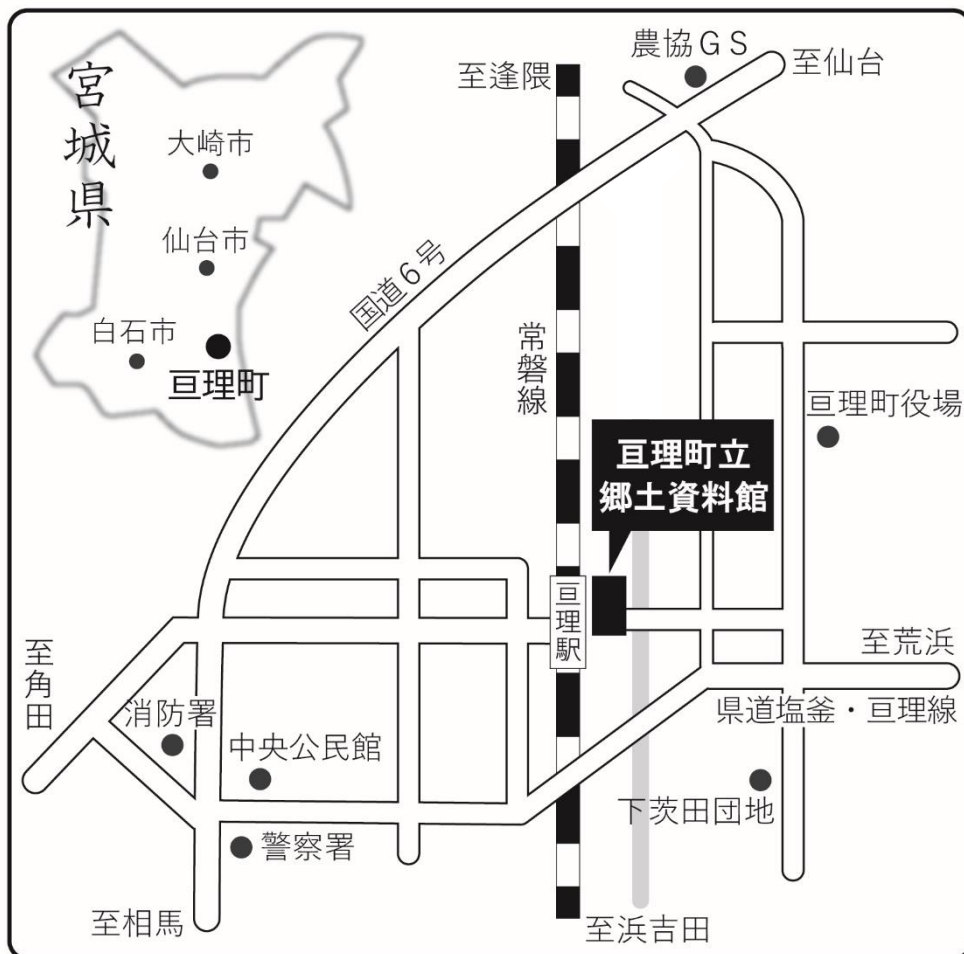
〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日(一部特別開館日を除く)
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・特別整理期間(令和5年2月5日～12日)

〔3〕 観覧料

- ・常設展示 無料
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 位置図



亶理町立郷土資料館年報 第26号
令和5年度

令和6年8月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地
TEL(0223)34-8701
FAX(0223)34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
